

みんなが楽しくなる奥山・里山再生の取組み 芸北 山焼き保全活動から学ぼう

広島県芸北地方に雲月山というめずらしい草原の山があります。たくさんの生き物がいて展望も最高です。山になぜ木がないのかというと山焼きを行っているからです。この活動は、歴史が育んだ風景を残したいと思う地域の人や、自然になにか貢献したいと思うボランティアが担い手となり、2006年に始められました。参加した人みんなが満足感や達成感を得ながら続けてきたおかげで、草原は保全されています。



この山焼き保全活動をコーディネートしたのは、芸北 高原の自然館学芸員の白川勝信さんです。白川さんの講演から、人の共感を呼ぶ催しの企画や広報について学び次の活動へつなげたいと思います。

日時 2013年2月24日(日曜日) 午後1時30分～3時30分

場所 文化の森21世紀館 ミニシアター

講師 白川勝信さん

プログラム

- 1部 白川勝信さん 講演
- 2部 生物多様性とくしま会議 奥山・里山人材育成プログラム報告 暮石洋さん 三嶺の自然を守る会
 - 第1回 秋の高丸山ガイド～生きもの豊かな森を学ぶ～ 9月23日実施
 - 第2回 シカ食害から三嶺の樹木を守ろう―樹木ガードボランティア 11月3日実施
 - 第3回 とくしま絆の森「六丁の森」植樹ボランティア 11月23日実施
- 3部 意見交換

講師プロフィール

1973年福岡生まれ。2003年 広島県芸北 高原の自然館学芸員に就任。生態系を形づくり・維持してきた「人の営みの歴史とその未来」に興味があり、雲月山と八幡湿原を主なフィールドとして湿原および二次草原の保全と再生をテーマに研究を続けながら、保全活動に取り組む。著書は「花だより」(白暮団)、「フィールドガイド 芸北の自然」(共著、北広島町教育委員会)、「みどり資源活用 of フロンティア 中山間地域新生への考察と実践方策の提言」(共著、大学教育出版)



主催 生物多様性とくしま会議 (奥山・里山部会)

後援 環境首都とくしま創造センターとくしま環境県民会議

問い合わせ先 近藤 (090-7142-0910)